

2003 . 3

白石区民のページ page

白石区インターネットホームページ
<http://www.city.sapporo.jp/shiroishi/>
白石区民公式サイト「shiroishi.org」
<http://www.shiroishi.org/>

「子供のアイデアってすごいですね」。手芸教室に来る小学生の作品にはいつも驚かされるという。講師の高橋さんの作品も用意されるが、それはあくまで見本だ。創造性を摘まないよう、技術的なこと以外はあまり口を出さないと。この手芸教室が開かれているのは、南区藤野にあるむくどりホーム。むくどり公園に隣接する住民が自宅を開放しているもので、地域のサロンの存在である。高橋さんが知人に誘われ初めてここを訪れたのは平成八年夏のこと。旧来の友人のように接してくれたホームの代表にフェルト製のこいのぼりを贈った。これに感激した代表の勧めで、同年十月からボランティアで毎月この教室を開いている。高橋さんは、服装の専門学校を卒業し、平成十三年まで短大の講師として被服技術を教えていたというから腕前は確かだ。かつて、障害のある友人のために衣服を縫ったことがあり、以来、体の機能と衣服の関係について強い関心を持っている。手芸教室で出会った障害のある子供に水着を作ったり、高齢者のためのファッション講座で講師を務めたりした。また、老人保健施設で開催されたファッションショーに介護衣服を提供し好評を博したこともあった。「実は、幼いころから人と話すことが苦手で、それを克



今月の

人

高橋 幸子さん
たかはし さちこ

(平和通在住)

むくどりホームで手芸教室を開いている

どうしてあんなに遠い所まで
通い続けるのか、自分でもよ
く分からないんですよ。

服しようと自分から人前に出るようにしてきたんです」と、これまで頑張ってきた理由を明かす。そんな彼女にとつて、このむくどりホームは楽しくて、ほっとできる空間なのだろう。「今まで、自分が動くたびに人と知り合い、道が開けてきました。手芸教室も周囲の人たちの協力があればこそです」。

一昨年には手芸の本を自費出版し、この春には作品展を開催することになったという。「どうしてあんなに遠い所に通い続けるのか、自分でもよく分かりません」と笑う。ひよっとすると、この手芸教室で学んでいるのは彼女自身の方なのかもしれない。

編集 白石区役所総務企画課広聴係
☎003-8612
札幌市白石区本郷通3丁目北1-1
☎861-2400 内線224
FAX860-5236